

2021年 5月14日

各 位

EAファーマ株式会社

**2021 年米国消化器病週間(DDW)において
経口 $\alpha 4\beta 7$ インテグリン阻害剤 AJM347 に関する演題を発表**

EA ファーマ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:松江裕二、以下「EA ファーマ」)は、2021 年 5 月 21 日から 23 日までバーチャル形式で開催される「米国消化器週間(Digestive Disease Week:DDW)2021」において、当社が独自に創製、開発中の炎症性腸疾患治療薬、開発コード「AJM347」に関するデータを発表することをお知らせします。

AJM347 は、 $\alpha 4\beta 7$ インテグリン阻害作用を有する経口投与可能な低分子化合物です。炎症性腸疾患の腸管粘膜病変部位では、リンパ球をはじめとする炎症性細胞の過度な集積・浸潤が認められます。その一連の反応は、炎症性細胞表面に発現するインテグリンと、腸管粘膜の血管内皮細胞に過剰に発現する接着分子(MAdCAM-1 等)との結合により仲介されています。AJM347 は、選択的に $\alpha 4\beta 7$ インテグリンに拮抗することにより、MAdCAM-1 との結合を介する細胞接着反応を阻害し、炎症部位への過剰なリンパ球浸潤を抑制することで、抗炎症作用を発揮すると考えられています。

本学会では、AJM347 の臨床第 I 相試験(抄録番号:Fr535)と前臨床薬理試験(抄録番号:Fr480)に関するデータの発表を予定しています。

<発表予定の試験データ>

抄録番号	演題名	発表日時(現地時間)
Fr535	ORAL ALPHA 4 BETA 7 INTEGRIN ANTAGONIST AJM347 DEMONSTRATES SUSTAINED TARGET ENGAGEMENT IN A FIRST-IN-HUMAN STUDY IN HEALTHY VOLUNTEERS: AJM347 の臨床第 I 相試験結果	5 月 21 日(金) ポスター発表
Fr480	PHARMACOLOGICAL CHARACTERIZATION OF AJM347: A NOVEL, ORALLY ACTIVE AND SMALL MOLECULAR PRODRUG OF ALPHA 4 BETA 7-SELECTIVE INTEGRIN ANTAGONIST FOR INFLAMMATORY BOWEL DISEASE: AJM347 の前臨床薬理試験結果	5 月 21 日(金) ポスター発表

当社は、消化器のスペシャリティ・ファーマとして、革新的な新薬を創出することで、炎症性腸疾患治療の選択肢を広げ、患者様とご家族の QOL 向上に、より一層貢献できるよう努めてまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先
EAファーマ株式会社 経営企画部 TEL: 03-6280-9802

参考資料

1. EA ファーマ株式会社について

エーザイ株式会社の消化器事業子会社であるEAファーマ株式会社は、エーザイグループが60年以上取り組んでいる消化器事業と、アミノ酸をコアとする味の素グループの消化器事業が、2016年4月に統合して設立された、研究開発、生産物流、営業・マーケティングのフルバリューチェーンを有する消化器のスペシャリティ・ファーマです。

EA ファーマ株式会社の詳細情報は、<http://www.eapharma.co.jp/>をご覧ください。

2. 炎症性腸疾患について

炎症性腸疾患は、腸管の粘膜に潰瘍ができる炎症性の疾患です。症状は、腹痛や下痢、下血などで、多くの場合は症状が軽快する「寛解」と悪化する「再燃」を繰り返し、患者様の QOL(生活の質)を低下させます。本疾患は、発症メカニズムが未だ解明されておらず、厚生労働大臣により「指定難病」に指定されています。国内患者数は、潰瘍性大腸炎が約 22 万人、クローン病が約 7 万人で、近年、増加する傾向にあります¹⁾。

1)厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班による「潰瘍性大腸炎の皆さんへ 知っておきたい治療に必要な基礎知識」(2020年3月改訂)、
「クローン病の皆さんへ 知っておきたい治療に必要な基礎知識」(2020年3月改訂)